

# 弓削高 P T A 通信

発行・印刷  
弓削高等学校  
P T A

## 「令和五年度を振り返って」

PTA会長

村上 貴樹



今年度のPTA会長を務めさせていただき、その一年の任期が終わろうとしています。先生方、PTA役員・会員の皆様、今年度も残りあと少しありますが、PTA活動へのご協力ありがとうございました。今年度よりコロナウイルスの五類移行に伴い、コロナ以前の学校生活に戻りつつあります。PTAにおいても、文化祭で三年ぶりにバザーを行うことが空

いてしまったため、ゼロから考えなければならぬことも多く、先生方やPTA役員の皆様と相談しながら準備を進めていきました。そして文化祭当日には、たくさんの方の来場者の方にバザーの商品を購入していただき、大盛況で終わることができました。売り上げに協力していただいた方々に改めてお礼を申し上げます。また、先生方やPTA役員の皆様、そしてバザーに出店していただいた店舗の皆様、ご協力ありがとうございました。

今年度、私の娘の卒業とともに、三年間務めさせていただきました。PTA会長の職を終えることとなります。コロナウイルスの影響もあり、PTA活動をを行うには難しい時期でしたが、無事に終えることが出来、無事魅力化プロジェクトと定員割れによる統廃合を防ぐために、何度か出席させていただきました。学校と上島町の行政が一体となり、弓削高の新生を増やすことに使命感を持って取り組んでくださっています。特に、給食の提供と学生寮の建設は、さまざまな課題や問題があつたと思えますが、初めてこの話を聞いた時から実現するまでが本当に早かつたと思います。弓削高校存続のために、尽力を注いでいただいている関係者の皆様に感謝いたします。最後に感謝いたします。PTA活動へのご協力ありがとうございました。これから弓削高校の生徒達をよろしく願います。

## 「一年間を振り返って」

PTA副会長

澤田 由紀



文化祭 PTAによるバザー

PTAによる役員の皆様、保護者の皆様のご協力のおかげで無事に終える事が出来ました。本当にありがとうございました。今年度は久しぶりに、外部の皆様も参加していただき、たくさんの方の笑顔であふれる文化祭になりました。とてもうれしく、楽しい時間を過ごすことができました。コロナ禍の中、当たり前が当たり前にならなかつた学校生活で悔しかった事や悲しかった事がたくさんあつたと思えます。しかし、それと乗り越えていきた子供達はとて強くなつたと思えます。来年度は更に、子供達が充実した学校生活になることを願っています。一年間ありがとうございました。

## 「感謝」

校長 松野 勝利



保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動に協力をお願いいただき心から感謝申し上げます。令和五年度は、学校生活に制限をもたらした新型コロナウイルス移行し、生徒は思う存分に学習活動や学校行事、部活動に取り組むことができたと思います。特に、三年生は、最後の一年間ではありましたが、最高の思い出ができました。こうして学校活動を支えていただきましたPTA役員の皆様と上島町の皆様、この機会を利用してお礼を申し上げます。ありがとうございます。はじめに、PTA会長村上貴樹様をはじめ、役員の方々に一年間、本当にお疲れ様でした。久しぶりのため、活動

もあつたかと思いますが、お忙しい中を一致団結して取り組み、学校行事を盛り上げていただきました。特に、文化祭では、食品販売をすべて保護者の皆様にお願ひし、ご負担をおかけすることとなりましたが、その食文化に生徒・教職員も大喜びでした。ちなみに、豚汁は美味で最高でした。充実した学校活動には、PTAの存在が欠かせません。今後も、ご協力をよろしくお願ひいたします。

続きまして、本校の存続・魅力化に向け、ご支援をいただいております上島町長上村俊之様をはじめ、上島の皆様に心から感謝申し上げます。その手厚い支援は、公営塾や給食の提供、通学に係る公共交通機関利用や自転車購入の補助、ヘルメットの支給など、多岐にわたります。更に、令和六年度からスタートする学生寮を新設していただき、県外からの入学生も大幅に増える予定です。皆様の期待に沿うことができますよう、地元への愛着心を育み、地域に貢献できる人材の育成に努めて参ります。

終わりに、生徒が「弓削高校に来てよかった」と思えるように、教職員が一丸となって取り組んで参ります。

す。引き続き、ご支援、ご協力をお願いいたします。



令和5年度運動会

「一年間を振り返って」

PTA副会長  
濱田 亜紀子

時間の流れはとても早く、あっという間に令和五年度が終わりを迎えようとしていきます。今年度は、運動会や文化祭、修学旅行といった各行事が、コロナ前により近づいた形で実施できました。文化祭においては、保護者の方々の協力を得て、各種バザーを開催させていただきました。また、コロナ以降、数年ぶりに調理を行ない、豚汁を販売することになりました。実施するにあたり、経験者が少ないこ

とから手順がわからず、戸惑うことも多かったのですが、PTA会長が中心となつて指揮をとってくださいました。豚汁はとてもおいしく大好評でした。PTA会長をはじめ、役員の皆様、先生方、保護者の方々にはこの一年間大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

「一年間を振り返って」

PTA副会長  
岡野 加恵

今年度の活動も残りあと少しとなりました。PTA会長をはじめ、役員の皆様、先生方そして保護者の方々のご協力により大変有意義な一年にすることができました。ありがとうございました。運動会や文化祭では、子どもたちの頑張りや成長を間近で見ることができ、楽しませてもらったことを大変うれしく思います。また、弓削高校の存続を目指した、生徒・地域・行政が一体となり「魅力あふれる学校づくり」に取り組んでいる生徒たちの姿勢、素晴らしく思います。皆様のおかげで様々な経験を積んで、楽しい高校生活が送れていることに感謝しています。

これからもPTA活動を通じて弓削高校・弓削高生を応援していきたいと思ひます。皆様のご協力をよろしくお願ひします。一年間ありがとうございました。

教頭 正岡 利博

防災グッズを揃えておく、避難経路や家族との連絡手段を確認しておくなどです。「備えあれば憂いなし」自然災害で誰一人犠牲者を出さないためにも、一度御家庭で防災について話し合う機会を作ってみてください。



防災教育講演会

「弓削高校の新展開と注目度」

ゆめしま魅力課長  
川上 裕大

御存知のように、令和六年度元日に能登半島地震が発生し、多くの方が被害を受けました。犠牲になつた方の御冥福をお祈りし、被災された方々にお見舞い申し上げますとともに、私たちもいつ大災害が起こつても大丈夫なように対策をしなければなりません。南海トラフ巨大地震は、40年以内に90%の確率で発生すると、政府の地震調査委員会が公表しています。私たちが

弓削高校魅力化プロジェクトの取組の一つとして、「全国募集」があります。今年度も、弓削高校は一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォームが提供する「地域みらい留学」に参加しています。今年度は、50回以上の説明会を開催し、東京で行われた対面説明会に参加してきました。

説明会では、学生寮「ゆめしま寮」がオーブンする度も全国的に高まっていて、来年度から各学年で約十名の県外生徒を受け入れる予定です。異なる地域出身者が交流する新しい場所が形成され、学生たちは多様な価値観に触れることになりました。「ゆめしま寮」によって地元の高校生にも良い影響をもたらさし、弓削高校全体がより活気づくとを期待しています。

「総合的な探究の時間」では、上島町の掲げる目標や課題について考えています。地元のコミュニティに参加し、社会への影響を実感しながら、自らのアイデアや提案を通じて、持続可能な未来を築く方法を模索しています。今年度は、第3回自転車甲子園で「特別賞」を受賞したり、全国高校生マイプロジェクトアワード二〇二三に応募したり、意欲的に活動しています。最後に活動しますが、地域の皆様の日々の支援とサポートに心から感謝申し上げます。保護者の皆様におかれましては、引き続きご支援とご協力をいただければ幸いです。



てしごと市

①「上島町のイノシシ肉を世界へ」  
 私たちの班は、上島町のイノシシ肉を多くの方々を知ってもらうために活動してきました。そのため、イノシシハンターの方々やアルカレーさんに協力していただき、実際に文化祭やイベントでも、イノシシ肉を食べてもらい、アンケートに答えていただきました。結果は多くの方が「おいしい」と答えていました。この活動を通して、まだイノシシ肉は上島町内ではかPRできていないことが分かってきました。これから更に多くの人に知ってもらうために、SNSなど様々なものを活用して、少しでもイノシシ肉を日本だけでなく、世界にまで広めていきたいです。  
 〈西倉 水友〉

③「弓削高校を存続させよう」  
 私たちは、弓削高校を存続させようというテーマで活動に取り組んできました。一学期には、夏休みの体験入学時に在校生と県外中学生とが交流する企画や、地域で交流する企画や、地域の参加をしました。体験入学では、交流会を実行することが出来ましたが、実行する上で、段取りやアンケートの実施など多くの課題

②「元気に年を取ろう」  
 私たちは現在、暮らしをテーマに活動しています。一つ目は普段から体を動かす習慣をつける未来、二つ目は90才になっても腰が曲がっていない元気なお年寄りが増える未来、三つ目は元気に笑顔で過ごしている未来の実現です。目的の実現に近づくために、体を動かすイベントと脳の活性化ができるクイズのコンビドを添付したチラシ配りをしました。イベントでは、参加者にもとても楽しんでいただけました。今後は、参加者の拡大や宣伝方法など、一回目、二回目のイベントの反省を踏まえて三回目のイベントをより良いものにしていきたいです。  
 〈丸田 千晴〉

位以上で討論バトルに参

④「第3回自転車甲子園」  
 私たち自転車班では、「Let's ゆめしまサイクリング」というイベントや、実技テスト、クイズの対策等、様々な活動を行ってきました。その中でも特に、自分が頑張ったと見えるものがあります。それは自転車甲子園に向けてのプレゼンテーションの対策と討論バトルの対策です。プレゼンテーションのようにスピードで話したら、わかりやすく、制限時間内に終わるかを考えました。討論バトルでは、弁が立つ友人と当日の夜中まで対策をし、まさに完璧！と見える状態まで仕上がりました。



第3回自転車甲子園

加できるという状況で、私たち弓削高校は6位という状態でプレゼンテーションをする事になりました。緊張して倒れそうにもなりましたが、何とかこらえ、プレゼンテーションの結果、6位から4位まで、二つ順位を上げることに成功しました。あとは討論バトル！といったらとこでしつが、緊張しすぎて頭が真っ白になってしまいました。結果は4位で終わってしまいました。とても悔しかったです。次回へ向けての原動力として頑張りたいです。  
 〈澤田 遥輝〉

## 令和5年度第2学期学校評価アンケート（三者比較）

(令和5年12月実施)

分類	評価項目	評価値					
		生徒		保護者		教職員	
学校教育全般	① 学校の教育方針や重点目標の伝達と理解	57	▲	77		86	◎
	② 情報発信の工夫（ホームページ・「弓削高だより」など）	52	▲	79		79	
	③ 学校教育の推進と学校生活への充実感	67		96	◎	64	
学習指導教科指導	④ 丁寧で分かりやすい授業の実践	81	◎	79		86	◎
	⑤ 生徒の能力を伸ばすための個別指導の導入と理解の深化	62		71		86	◎
	⑥ 学習形態の工夫や習熟度別・類型別学級編成による進路希望に応じた指導	68		82	◎	86	◎
	⑦ 積極的なICTの活用、話し合いの場の設定など、主体的・対話的な学びの実践	76		74		93	◎
	⑧ 適切な課題設定による学習習慣の定着	43	▲	41	▲	79	
進路指導	⑨ 進路決定のための計画的で適切な進路情報の提供	70		68		86	◎
	⑩ 進路選択に役立つガイダンス機能の充実	57	▲	62		79	
	⑪ 個別指導・面接指導の実施による進路相談の充実	76		72		86	◎
生徒指導	⑫ 命を大切にする心や社会のルールを守る態度の育成	79		97	◎	79	
	⑬ あいさつ・言葉遣いの指導の徹底	76		94	◎	57	▲
	⑭ 生徒同士及び生徒・教師間の豊かな人間関係の育成	75		91	◎	71	
健康安全環境指導	⑮ 健康で安全な生活に資する施設・設備の整備	49	▲	82	◎	57	▲
	⑯ 心身の健康に問題が生じたときのケア体制の充実	57	▲	82	◎	57	▲
	⑰ 事故防止・防災・防犯に対する適切な指導	81	◎	85	◎	71	
人権同和教育教育相談	⑱ あらゆる教育活動における人権・同和教育の視点に立った教育の推進	73		88	◎	64	
	⑲ 生徒が気軽に相談できる教育相談体制の整備	44	▲	79		86	◎
特別活動	⑳ 地域に貢献できる生徒の育成につながる奉仕活動の充実	71		91	◎	79	
	㉑ 生徒と教師が一体となった部活動の推進	76		91	◎	86	◎
	㉒ 生徒と教師が一体となった生徒会活動・学校行事の推進	86	◎	97	◎	93	◎
総平均値		67		81	◎	78	

※ 評価値は、肯定割合（できている、又は、どちらかと言えばそう思うと回答した割合）を示す。  
 ※ ◎－80以上、▲－60未満を示す。